

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援について



正和会
幡垣 正生 議員



質問 本市が独自で実施している事業者支援策の成果及び現状を伺う。

市長 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対し、主に三つの支援策を実施している。①融資制度における各種資金の据置期間延長及び運転資金の限度額増額を実施、8月末現在で10件の申請があっ

た。②市内事業者向けに事業活動全般に係る相談専用ダイヤルを開設、面談によるサポートも含め579件の利用があった。③事業継続応援金として10万円の給付を行い、8月末現在で1,159件の申請があった。

[中学校の部活動における新型コロナウイルス感染症対策と現状について](#)

質問 現在の部活動の状況と顧問及び外部指導員の対応、さらに部活動におけるコロナ対策について伺う。

教育長 本市ガイドラインに従い、顧問や部活動指導員が部活動の特性に応じて、生徒の体調確認や3密を避けるなど感染予防の指導を徹底し、段階的に部活動を実施している。



▲「福生市事業者向けよろず支援相談」リーフレット

第3期福生市バリアフリー推進計画の取組状況について



正和会
小林 貢 議員



質問 第3期の計画について伺う。

市長 第3期福生市バリアフリー推進計画の「市民が互いを尊重し、ルールやマナーを守りながら自由に行動し、かつ活動できるまち」を基本理念とし、その下に基本目標として「施設」「心」「情報」「施策面等」の四つのバリアフリーを挙げ、

さらに八つの分野別推進計画として、道路、駅、市の建築物、都市公園、学校教育、生涯学習、市民参加、組織の対応を掲げ、それぞれにおいて施策の方向と主要施策を示している。

[第4期における計画策定の方向性と現在の進捗状況について](#)

質問 第3期は今年度までだが、

第4期は検討しているか。また、その方向性や進捗状況は。

市長 庁内で検討の上、福生市地域福祉推進委員会からもご意見をいただいた上で素案をまとめ、令和3年1月には市民意見募集を行い、福生市総合計画第5期の主要計画として年度内策定を目指している。



▲バリアフリー化した市営競技場のトイレ

感染症対策に資する口腔ケアについて



公明党
青木 健 議員



質問 感染症に罹患した際に重症化しやすいとされる高齢者の感染症対策として、口腔環境機能維持に資する取組の推進について所見を伺う。

市長 口腔環境を整えることや適切な口腔ケアを受けることは健康寿命にも大きく関わり、効果的な感染予防及び重症化予防に資するので、

様々な方法により普及啓発したい。

福祉保健部長 介護予防教材のDVD「福生市はつらつ健康プログラム」等を活用し、介護予防教室等において口腔ケアの啓発を図る。

[小・中学校の給食後歯磨きについて](#)

質問 感染症予防の観点から、本市の小・中学校でも給食後の歯磨き

を実施することについて所見を伺う。

教育長 口腔環境を整えることで新型コロナウイルス感染予防の効果があることは周知の必要があるが、日本学校歯科医会では校内での歯磨きは3密になりやすく、飛沫が飛びやすい等の課題があると指摘しており、給食後の歯磨きを奨励の予定はない。



▲介護予防教材のDVD「福生市はつらつ健康プログラム」

住民の早期避難を促す取組について



公明党
五十嵐 みさ 議員



質問 災害時の早期避難の重要性が市民にまだ認識されていないと思われる。東京マイ・タイムラインの周知が重要だと思うが、本市の所見を伺う。

市長 東京マイ・タイムラインを活用した避難行動計画を作成するための出前講座を準備していたが、コ

ロナ禍により実施に至っていない。ホームページや「あんまち!!」等を通じて啓発を図っていきたい。

[医療機関等との連携について](#)

質問 災害時は医療機関への傷病人等の搬送が増えることが想定される。本市と医療機関等との連携状況について伺う。

市長 本市では福生市地域防災計画に基づき、医師会、歯科医師会、薬剤師会等と連携し、災害状況に応じた医療活動を実施する。9月13日には災害時医療救護所開設訓練を予定。また、新型コロナウイルス等の感染症も視野に入れ、昨年の台風第19号の経験も踏まえ対策を行う。



▲安全安心まちづくりだより「あんまち!!」

公共施設の総量抑制について



正和会
佐藤 弘治 議員



質問 個別施設計画策定中の総量抑制の目標値について、どのように計画としてまとめられ、実行されていくのか、所見を伺う。

市長 当面は福生市公共施設等総合管理計画の目標を堅持していくが、再配置の具体的な検討は計画策定後になる。国の要請もあり、総合管理

計画の目標値については計画とともに随時見直しを図っていく。

[公共施設に必要な新たな機能の検討について](#)

質問 今後、公共施設が必要とする新たな機能について、個別施設計画で検討するべきと考えるが所見は。

市長 学校施設の更新時に、学校

を核に複合化を図り、図書館等既存施設のほか高齢化社会へ対応した機能を持たせる。また、防災拠点としての機能のほか、公共サービスの形を変え、市民の利便性を高める効果が期待できるICT(情報通信技術)の導入や活用の可能性も検討していく。



▲福生市公共施設等総合管理計画

保育所等の新型コロナウイルス感染症対策について



正和会
武藤 政義 議員



質問 万が一、保育所等において新型コロナウイルス感染症が発生した場合、本市ではどのように対応するのか。

市長 状況によって臨時休園等の判断を迫られる場合がある。影響も大きくなるので、保育施設、都の関係部局、保健所等と協議の上、休園

の範囲及び期間等について、慎重かつ早急に判断することとしている。

[青年学級にじのはらっぱについて](#)

質問 長きにわたり行われているこの障害者施策について、事業の魅力を含め概要を伺う。

教育長 青年学級にじのはらっぱは、障害者のご家族のご要望、当時

の社会的要請に応じ、障害者の社会性・人間性を育み、自分らしさが表現できる居場所の確保を目的に昭和60年6月に開設された。ボランティアの方々のご協力の下、展示作品作り、音楽活動など、地域に根ざした活動を通じ、学級生の生き生きとした表情を垣間見ることができる。



▲にじのはらっぱ学級生の市民文化祭への出展作品